

ゴミダス

保存版

gomidas

GOMI Data And Step ごみ情報・対策

目次

- ・プラスチックごみの分別方法 2
- ・県西地域2市8町プラごみゼロ共同宣言のシンボルマークが決まりました！ ... 2
- ・トレーやペットボトルなどを店舗で回収して資源化 3
- ・食品ロス削減について考えよう！ 4
- ・食品ロス削減の市の取り組み 5
- ・段ボールコンポストに取り組んでみよう！ 6
- ・よりよい集積場所をつくるために 7
- ・1人1日あたりのごみの排出量 8
- ・剪定枝資源化事業の取り組み 8
- ・使用済みペン回収ボックスを設置しました 8

脱炭素社会の実現に向けて、ごみを減らすことを意識しよう！

ごみ問題には、地球温暖化に悪影響を及ぼす問題が潜んでいます。それは、ごみを焼却するとき発生するCO₂だけでなく、必要以上に大量のモノが生産され廃棄される、それぞれの過程でもCO₂が排出されているためです。

小田原市では2050年のカーボンニュートラルを見据え、2030年度にCO₂排出量の50%削減を目指しており、ごみの焼却によるCO₂排出量も相当に減らす必要があります。

脱炭素化に寄与する取組は、私たちの生活に直接関係するものであり、一人ひとりが自分ごととして考え、積極的に行動を起こしていくことが重要です。

本紙にはヒントとなる情報を記載していますので、ぜひ、できることから取り組んでみてください。



▲脱炭素先行地域選定証授与式

小田原市は、2050年のカーボンニュートラル(CO₂の実質排出ゼロ)の実現を掲げ、これまでに数々のモデル事業を全国に先駆けて実施してきましたが、令和4年11月、国が募集する脱炭素の早期実現を目指すモデル地域である、「脱炭素先行地域」に全国46か所(令和4年度時点)の一つとして、選ばれました。

今後、国の支援を受けながら太陽光発電やEVなどの普及をはじめ、さらなるカーボンニュートラル施策の推進に取り組めます。

プラスチックごみ削減への取り組み

■プラスチックごみの分別方法

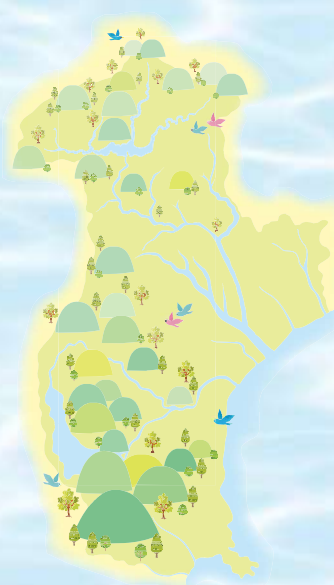
<p>プラスチック製容器包装 トレー類、♻️表示のあるもの ♻️表示があることを確認の上、 必ず中身を使い切り、汚れを取り除 いてから出してください。</p>  <p>「トレー類」の日</p>	<p>ペットボトル ♻️表示のあるもの PET</p>  <p>「ペットボトル」 の日</p>	<p>プラスチック製品 トレー類・♻️表示のあるもの以外の もの</p>  <p>「燃せないごみ」の日</p>
---	--	---

プラスチック製容器包装やプラスチック製品は、以下の方法でリサイクルされます。

プラスチック製容器包装は、風を利用した機械で選別したあと、手選別を行います。この後、磁石を利用した機械選別を行い、圧縮機へ運ばれます。そして一定の大きさに圧縮した後、再生業者に引き渡され、プラスチック製品などにリサイクルされます。

プラスチック製品は、機械で細かく破碎し、磁石を利用した機械選別を行い、熔融スラグや焼成砂にリサイクルされ、道路工事の材料などに利用されています。

県西地域2市8町プラごみゼロ共同宣言のシンボルマークが決まりました!



世界的な問題となっている海洋プラスチック問題に対し、地域全体で取り組むことを目的に、小田原市を含む県西地域2市8町は、令和4年2月に「プラごみゼロ共同宣言」を行いました。本宣言を広く周知、啓発するためのシンボルマークを募集したところ、33点の応募がありました。

選考の結果、最優秀賞は東京都葛飾区の会社員、笠井訓史さんによる右の作品に決定しました。

今後、各種印刷物や啓発グッズなどに活用していきます。

▶作者コメント

海洋プラスチック問題という事で、海に沈むプラ（ペットボトルのイメージ）が、数字の「0」の形になっているデザインにしており、シンプルに表現しました。

かながわ
県西地域2市8町



プラごみゼロ
共同宣言

■トレーやペットボトルなどを店舗で回収して資源化

資源物は分別して決まった日に出すことになっていますが、収集の日に出し忘れてしまった、たくさん出たてしまって収集の日まで保管できない、ということもあるのではないのでしょうか。

そのようなとき、ごみの減量のため環境に配慮した活動を行っている店舗に出すことができますので、ぜひご利用ください。

店舗名	ペットボトル	発泡トレー	かん	ペットボトルキャップ	紙パック
小田原百貨店 寿町店・板橋店・栢山店	○	○			○
しまむらストアー たちばな店		○			○
イトーヨーカドー 小田原店	○	○	○	○	○
ロピア 小田原高田店	○	○ (白色のみ)			○
ヨークマート 酒匂店・鴨宮店	○	○ (酒匂店は白色のみ)		○	○
ヤオコー 小田原ダイナシティ店	○	○	○ (アルミのみ)	○	○
マックスバリュ 小田原荻窪店	○	○	○ (アルミのみ)	○	○
ザ・ビッグ 小田原寿町店	○	○	○ (アルミのみ)		○
Odakyu OX 小田原店	○	○			○
ユーコープ 国府津店	○	○		○	○

注意! 各店舗の回収できる品目のみを出し、その他のごみなどを入れないようにしてください。

すべて中身を捨てて洗って乾かしてください。

ペットボトルは飲料のみ、調味料のペットボトルは不可。キャップを外し、ラベルをはがしてください。

発泡トレーは発泡スチロール製トレーのことで、プラスチックトレーは含みません。

紙パックは裏が銀色の物は不可（ユーコープ国府津店は回収できます）。

●回収店舗の紹介～小田原百貨店～

当社は、地域に密着して環境配慮活動を行っており、その取組の一つとして、店舗にペットボトル・トレー・牛乳パックの回収ボックスを設置しています。水曜日のみ各店舗のサービスカウンターでは白色の発泡トレーを回収し、10枚につき1ポイントを小田原百貨店ポイントカードに付与するサービスを行っています。回収したトレーは、株式会社エフピコでリサイクルされています。



●株式会社エフピコ

当社のリサイクルは、スーパーマーケットなどに回収ボックスを設置し、そこから運び込まれた使用済みの食品トレーを原料として新しいトレー（エコトレー）として再生しています。このような使用済みのトレーから新しいトレーを生み出す「水平リサイクル」によって、新たな原料を削減し、持続可能な資源循環を実現します。回収資源の品質にも気を使っておりますので、消費者の皆さまには、軽く洗って乾かしてから回収ボックスに入れていただけたらと思います。



燃せるごみ削減への取り組み

■食品ロス削減について考えよう!

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物「食品ロス」は日本国内で年間約522万トン（令和2年度）発生しており、一人あたりではお茶わん約1杯の量に近い食べ物を毎日捨てていることとなります。食品ロスの削減のために何ができるか考え、できることから始めてみませんか？

食品ロスを減らすには様々な方法がありますので、自分に適した方法で挑戦してみてください。次のページでは以下の減量方法に関わる市の取り組みを紹介しています。

①計画的な買い物

値段が安いなどの理由で必要以上に食材を買い過ぎてしまうと、結局使いきれずに食材を腐らせてしまう原因になります。特に、野菜や生ものなどの傷みやすい食材は、計画的な買い物を心がけましょう。



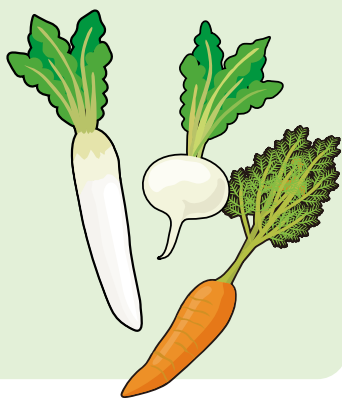
②冷蔵庫・家庭内の在庫管理

食品が長期間冷蔵庫の中に入ったまま、品質の劣化などで食べられなくなり処分してしまったことはありませんか？普段からこまめに家庭内の食品の在庫や消費期限・賞味期限を確認するようにしましょう。



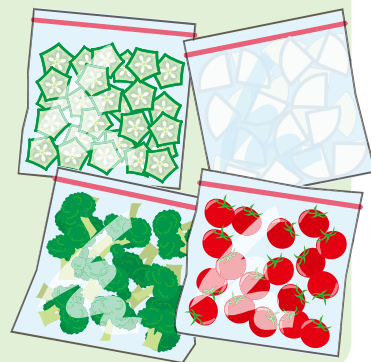
③使いきり

調理の際、野菜などの食べられる部分を捨てていませんか？野菜の皮や茎も料理に取り入れるなど、食べられる部分はとことん使いきりましょう。食材の栄養も余すことなく取ることができます。



④食べきり

食べ残しを減らすために、料理は食べきれぬ量だけ作るようにしましょう。余った料理はアレンジしたり、小分けにして冷凍庫で保存するなど、食べきる工夫をしましょう。



⑤期限表示の理解

「消費期限」と「賞味期限」の違いを知っていますか？「消費期限」は、品質の劣化が早い食品に表示される「食べても安全な期限」のため、それを超えたものは食べないほうが安全です。

「賞味期限」は、品質の劣化が比較的遅い食品に表示される「おいしく食べられる期限」であり、それを超えてもすぐに食べられなくなるわけではありません。賞味期限を過ぎた食品については、見た目やにおいなどで個別に判断しましょう。

賞味期限
消費期限



■ 「食品ロスダイアリー」のモニター募集しました

食品ロスダイアリーとは、家庭で捨ててしまった未利用の食品や食べ残しを一定期間記録することができる日記です。記録することで、家の中からどのくらい食品ロスが出てしまったか把握することができます。このように食品ロスの量が目に見えることで食品ロスの量を減らすことができます。

小学生も挑戦 下曽我小学校 4年 柳川 侑璃さん

少しの食べのこしでも合計するといがいと多いな、と思いました。ごはんを作るとき、ちょうどいいりょうではなく、少しすくないりょうで作った方が食べのこしをへらせると思いました。これからは食材の買いすぎにも注意してロスが出ないように、食材に感しゃしてのこさず食べます。



■ 「食品ロスをへらす冷蔵庫整理収納講座」動画配信しています

食材を捨ててしまった理由に「冷蔵庫の奥で賞味期限が切れてしまった」ということはありませんでしたか？

令和2年度に配信した「お野菜まるごと使い切りレシピ」に続き、冷蔵庫収納家の福田かずみさんによる、食品ロスを出さない上手な食品の保存方法の動画を配信しました。動画の視聴は、市ホームページで「冷蔵庫整理収納講座」と検索してください。

■ 「食材を捨てずに使う料理教室」開催しました

豆腐マイスター 小島千晴さんによるおからを使った料理教室を開催しました。

ほとんどが食されないとされているおからをメインにした料理を3品作り、肉や野菜も料理の中で上手に使いまわしました。



▲小島 千晴さん

おからは食物繊維がたっぷりです。ダイエットや老化防止にもおすすめの食材です。



■ 「食べきり協力店」を利用してみませんか

小田原市では「小盛対応」「食べきりの呼びかけ」「食べきりの特典」「お持ち帰り対応」「食材の使いきり」のうち1つ以上の取組を行っている飲食店に「食べきり協力店」として登録いただいています。登録内容は、店内のステッカー、または市ホームページを確認してください。

「健康おだわらい^{あんべえ}塩梅事業」は市内の飲食店に参加していただき、適塩推進、食品ロス削減に取り組んでいます。

それでも発生してしまった生ごみは1サイクルしよう!

■段ボールコンポストに取り組んでみよう!

●段ボールコンポストとは

堆肥化にはさまざまな方法がありますが、手軽に取り組みやすいのが段ボールコンポストです。身近にある段ボール箱を使い、微生物の力で生ごみを分解します。できた堆肥は家庭菜園やお花を育てるために使うことができます。

捨ててしまえばごみですが、少し手間をかければ、野菜やお花づくりに必要な堆肥として有効な資源に生まれ変わることができます。市内在住の方には、初期セットを無料で配布していますので、ぜひチャレンジしてみてください。



●段ボールコンポストの基材・竹炭の作製方法・効果

段ボールコンポストで使う基材は、特定非営利活動法人おだわら虹の会ありんこホームで作製されています。基材は木工屋さんなどから出るおがくずを再利用し、腐葉土やピートモスなどを適切な割合で配合しています。

第3ありんこホーム（鴨宮328）で基材の販売もしていますので、購入される場合は事前に連絡してください。

連絡先：0465-48-8269



また、段ボールコンポストで使う竹炭は、未来につながる美しい里山づくり「相州小田原荒廃竹林解消プロジェクト」の一環で作製されています。この竹炭を混ぜることで段ボールコンポストのにおいやべたつき、虫の発生対策になり、段ボールコンポストを継続しやすいものにします！水分が多いときや、においが気になるときに試してみてください。

●生（いき）ごみクラブ講座を開催しました

令和4年11月に「アロマキャンドルづくり」、「寄せ植えづくり」の講座を開催しました。講座では、段ボールコンポストの仕組みを学んだあと、段ボールコンポストでできた堆肥を使って育てたハーブでアロマキャンドルづくりと堆肥を使った寄せ植えづくりをそれぞれ行いました。参加者からも、「生ごみでできた堆肥をどのように活用できるのか知ることができ、堆肥化により興味を持つことができた」との声をいただきました。



よいよい集積場所を つくるために



ごみ集積場所は、重しとなる鉄製チェーンをつけたネットで覆うことで、カラスや猫などに生ごみなどを荒らされる被害を少なくすることができます。

ネットと鉄製チェーン、ごみ集積ボックス（条件あり）は、自治会長から依頼があれば、環境事業センターから貸出ししていますので、お気軽にご連絡ください。

自治会連合会区域ごとに設置されている市の地域コミュニティ組織では、環境や防災、福祉など、さまざまな地域課題の解決のために取り組んでいますが、地元の小学校と協力して、小学生が描いた啓発ポスターをごみ集積場所に掲示している地区があります。

子どもの絵は、大人の心に訴えかける効果が期待できますね。



木材やパイプ、ネットを利用して、ボックス型の集積場所を製作している自治会もあります。ふたが重いと高齢者が入れにくくなったり、置き場所を考えたり、様々な配慮が必要ですが、各地区の実情に合わせて工夫してみるのも良いですね。

ごみは、「ごみと資源の収集日カレンダー」を確認し、当日の午前8時30分までに出してください。

充電電池は、ごみ集積場所に出さないでください。

充電電池が原因と思われるごみ収集車内での火災が発生しています。下記のマークの電池、またはボタン電池は機器から取り外し、販売店や回収協力店へ出してください。その他の電池は⑧「スプレー缶など」の収集日に出してください。



■1人1日あたりのごみの排出量

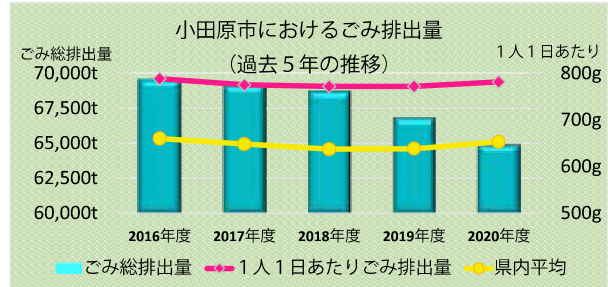
小田原市の家庭から出る燃せるごみ、燃せないごみ、資源ごみをあわせたごみの排出量は1人1日あたり781gで、県内平均653gよりも多い排出量となっています。

ごみを焼却した際に発生する焼却灰は、小田原市では焼却灰の最終処分場の問題もあり、東北地方をはじめとする県外の自治体にて埋立処分またはリサイクルしていますが、多額の処分費と遠方への運搬費がかかっています。

1人1日あたりのごみをあと2割減らすことが出来れば、県内平均の排出量となり、ごみ処理費用の削減にも寄与できます。

また2030年度にCO₂排出量の50%削減を目指し、プラスチックごみなどの排出量も相当に減らす必要があります。

ぜひ、「ごみと資源の分け方・出し方ガイド」を参考に、ごみを出すとともに、本紙に掲載されていることも実践してみてください。



■剪定枝資源化事業の取り組み

令和2年度から、市内の学校や公園、農道で剪定した枝葉の一部をリサイクルしています。また、令和4年度は地区を限定し、家庭で剪定した枝葉のリサイクルの実証事業を行いました。

集めた剪定枝類は市内の(株)川久保組にて、チップ化し防草効果のある敷材などとして活用されています。また、星槎国際高校小田原学習センターでは、ハーブガーデンや遊歩道の整備に敷材を活用し、歩きやすさと景観の保持に役立てています。

今後も剪定枝類の資源化の拡大を検討し、ごみの減量化・資源化率の向上を目指していきます。



■使用済みペン回収ボックスを設置しました

小田原市は環境負荷低減と循環型社会の実現にむけて、(株)パイロットコーポレーションが実施する使用済みペン等のリサイクルプログラムに参加しています。

使用済みペン回収ボックスを市内公共施設5か所に設置していますのでぜひご利用ください。

○設置場所

- ・市役所本庁舎2階
- ・おだわら市民交流センターUMECO
- ・川東タウンセンターマロニエ
- ・城北タウンセンターいずみ
- ・橘タウンセンターこゆるぎ



市役所本庁舎2階

おだわら防災ナビをご利用ください

災害発生時、またはその恐れがある場合に、一人ひとりの手元に市からの情報を届けることができるスマートフォン向けアプリ「おだわら防災ナビ」が、令和5年2月からダウンロード開始となりました。

ハザードマップの他、「ごみと資源の収集日カレンダー」や「ごみと資源の分け方・出し方ガイド」、ごみ分別辞典「ごみサク」などを掲載しています。また、カレンダーやガイドはアプリで1回ダウンロードしておけばオフラインでも確認できますので、ぜひご利用ください。



Android



iPhone

おだわら忍報をご利用ください

市民通報アプリ「おだわら忍報」は、道路や公園設備の損傷、不法投棄などに関する情報を、スマートフォンなどから、写真や位置情報を添付して通報できるアプリです。集積場所内の違反ごみのほか、道路上のごみ、河川・水路内のごみ、公園内のごみなどを通報することができますので、ぜひご利用ください。



Android



iPhone